

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

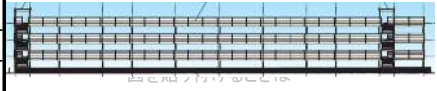
1. 建物概要		
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)COI新潟駐車場 新潟県新潟市中央区東大通1丁目185番 商業地域、準防火地域 工場, 2019年5月 予定 1,713.51 m ² 1,462.89 m ² 4,080.63 m ² 地上3F:3層4段 S造 実施設計段階評価 2018年9月26日	
2. CASBEE新潟の評価結果		
	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{46.7}{45.1} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		
3. 新潟市の重点項目の評価		
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 5.0	 バリアフリー計画 Q2.1.1.3 - 維持管理 Q2.1.3 - 設備の更新性 Q2.3.3 5.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 3.0	 耐震・免震・制震・制振 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 3.0	 雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0	 建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 - 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.5	 節水 LR2.1.1 - 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 4.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0	 生物環境の保全と創出 Q3.1 1.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 3.0	 まちなみ・景観への配慮 Q3.2 3.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項		
配線、配管は全て露出しており、修繕及び将来の更新が容易に可能。 リサイクル材を使用することで、環境資源に配慮している。		

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)CO1新潟駐車場	階数	地上3F:3層4段
建設地	新潟県新潟市中央区東大通1丁目185番	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	0人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2018年9月26日
敷地面積	1,714 m ²	作成者	日成ビルド工業株式会社東京本部一級建築設計事務所
建築面積	1,463 m ²	確認日	2018年9月28日
延床面積	4,081 m ²	確認者	日成ビルド工業株式会社東京本部一級建築設計事務所



シートを保護するために、シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
3階4段の立体駐車場の建設により、敷地周辺の駐車場不足を図る計画。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
なし。	外装材はガルバリウム鋼板を使用し、建物の長寿命化を図っている。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
特になし。	再生建材(再生砕石、蓄圧式ABC消火器)を使用し、環境資源に配慮している。	燃焼機器を使用せず、外部に大気汚染物質を発生しない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される